

令和 2 年 8 月 1 9 日

総 務 部

災害時情報収集システムを活用した防災訓練の実施について

概要

今年度から運用を開始した「G空間情報収集システム」を活用した防災訓練（図上演習）を実施し、職員の対応能力の向上を図ります。

9月以降は、本システムを使って避難場所の混雑状況などを市民も確認できるようになるため、システムの広報を兼ねて実施します。

日時

8月26日（水） 午前9時～正午

※報道機関への公開は午前10時まで

訓練概要

別紙訓練概要のとおり

G空間情報収集システムの概要

別紙システム概要のとおり

その他

訓練当日に大雨警報発表などの災害対応が必要となる事象が発生した場合には、本訓練を中止します。

（本件の問い合わせ先）

総務部 危機管理防災課

担当 田中、篠原

電話 72-9260（内線1434）

災害時情報収集システムを活用した防災訓練（図上演習）

目的

今年度から運用を開始する災害時情報収集システム（G空間情報収集システム）の活用を図り、市職員の災害対応能力の向上を図る。

日時

令和2年8月26日（水） 午前9時～正午

対象者

災害対策本部会議構成員

唐津市災害対策本部規程第13条に規定する、市長、副市長、教育長、各対策部長・支部長

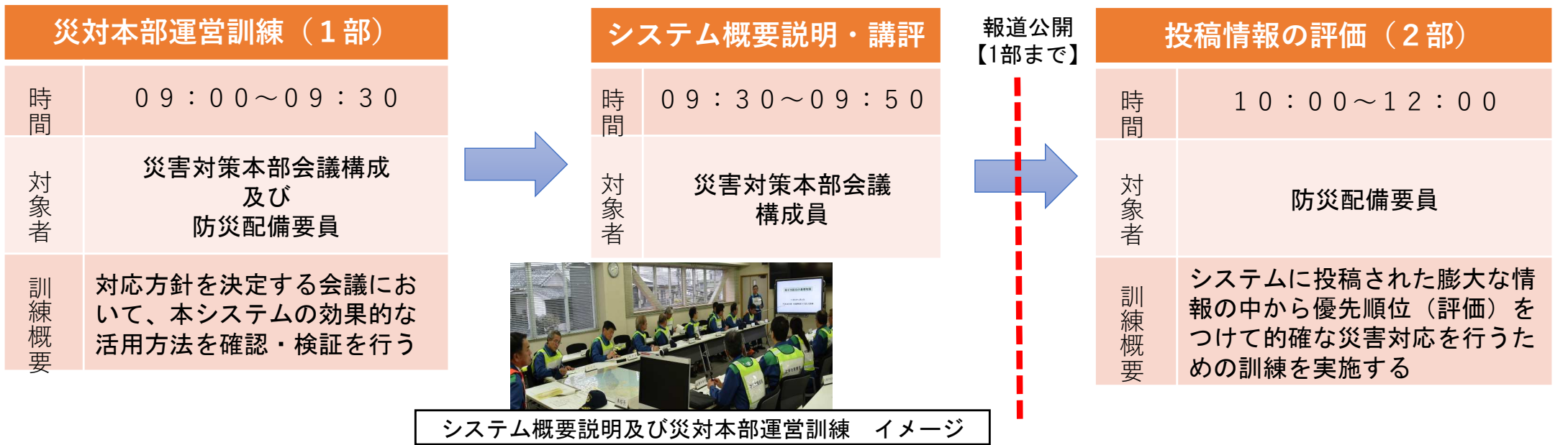
防災配備要員

災害情報連絡室員
（総務課、市政広報課など計13名）

訓練実施場所

唐津市防災センター（唐津役所本庁 敷地内）

訓練概要



備考

- 1 第1部を報道機関に公開する。（市長等の災害対策本部構成員は、第1部まで参加）
- 2 訓練の実施に関し、システム構築者（九州大学三谷教授など）の支援を得る。

防災体制の強化を図るため、収集した災害情報を効率的に共有し、迅速な救助活動や円滑な避難所運営など、災害時の指揮を支援するシステムを令和元年度に整備。令和2年度出水期に運用開始。令和2年9月より市民も閲覧できるよう公開予定。
令和元年度地域IoT実装推進事業（総務省）において唐津市が採択された「G空間地域防災システム構築事業」で構築。

唐津市 G 空間情報収集システム イメージ (地図上のアイコンをクリックして詳細を確認)

周囲に危険を及ぼすような災害現場の状況を写真とあわせて表示します

投稿情報	場所	写真
大分類: 災害(職員) 投稿No: 6571 収集日時: 2020/07/31 10:34:50 投稿日時: 2020/07/31 10:34:50 投稿者: 唐津市危機管理防災課 中分類: 河川情報 小分類: 氾濫発生 ステータス: 未読 内容: 唐津川で氾濫発生。土砂流木により唐津橋が通行不可。		

国土交通省の河川ライブカメラ映像を表示します

徳須恵川合流点



避難場所の開設・避難状況を表示します

開設した避難場所はオレンジ色になります。避難の状況がわかります。

○表示イメージ○

施設名: 唐津工業高等学校

状況

更新日時: 2020-08-17 13:39

開設/閉設: 開設

状況:

避難人数: 9

世帯数: 5

※受入可能最大世帯数: 235